

あいの



Vol.32

平成 30 年 1 月発行



特
集

神経内科 (診療科紹介①)

活動報告

市民公開講座

クリスマスコンサート

お知らせ

就任医師紹介

講座・セミナーのご案内

当院の数ある診療科を順次ご紹介させていただき、もっと藍野病院の診療を知っていただきたいと思います。第1回目は『神経内科』です。

診療科紹介①

「神経内科」



もの忘れ外来

藍野病院・神経内科は、平成23年11月に標榜科として旗揚げした診療科です。

当院の強みである、リハビリ科や臨床心理部門が充実していること、また必要に応じて精神科と緊密に協力体制が取れることなどを生かして身体のみならず精神にも対応が必要となる高齢者でよくみられる神経疾患、特にパーキンソン病関連疾患、認知症、脳卒中などに力点をおいた診療を行なっています。

特に、パーキンソン病診療に力点を置き、平成26年10月より外来患者を対象にした『パーキンソンダンス教室』を週1回で4週連続を1クールとして、年に4回開催しております。

『パーキンソンリハビリ+教育入院』は、多職種がチーム医療に関わり、4週間のリハビリテーションに加え臨床心理士、薬剤師、看護師、栄養士、社会福祉士ら多職種による介入により、改めてパーキンソン病について良く理解して頂く事を目的とし、平成29年3月末までに延べ96名の患者様が入院され、好評を頂いており、またその成果は日本神経学会、MDS-J、日本リハビリテーション学会、リハビリテーション・ケア学会などにて発表致しました。

また、パーキンソン病友の会・高槻支部『うの花会』の活動を支援しており、月例会での会場提供や講演やパーキンソンダンスを実施しています。

その他、精神科医師と協力して『もの忘れ外来』を行っています。神経内科と精神科が一緒に2診体制で診療するもの忘れ外来は全国でも稀であり、早期診断やBPSP治療のみならず、現在もっとも懸念されている認知症患者の身体合併症治療においても入院治療

が可能であり『オール・イン・ワン病院』として活動しています。

さらに、以前より医師会や行政、介護系とのネットワークを生かした、認知症を中心に据えた全ての高齢者を対象にした地域連携システムは『茨木市モデル』として全国の自治体より注目をされており、その後方支援病院としての役割を果たしております。

今後も、大阪医科大学神経内科との連携をはかりながら、茨木市域における神経内科の地域拠点病院としての役割を固める所存です。



パーキンソンダンス教室



パーキンソンリハビリ+教育入院 W.G



塚原彰弘先生 篠田恵一先生 杉野正一院長 中村善胤先生

平成 29 年 11 月 25 日（土）市民公開講座 「はつらつ長寿をめざして」を開催しました。
 第 6 回目となる今回は、『“老年症候群”って何？～その予防と対策～』と題し 3 題の講演を行いました。
 今年も大勢の方にご参加いただきました。

平成29年度市民公開講座
はつらつ長寿をめざして
“老年症候群”って何？
 ～その予防と対策～

講演① 関節痛が気になったら！

講師：大塚 隆夫 先生（リウマチ膠原病内科 永井孝彦 先生）

定員 450名

平成29年 11月25日(土) 午後2時～4時 (開場：午後1時)

会場 茨木市立生涯学習センター きらめきホール 参加無料

お問い合わせ：072-627-3627





クリスマスコンサート



平成 29 年 12 月 16 日（土）に毎年恒例となりました、クリスマスコンサートを開催しました。
職員や歌姫まりかさん、大冠高校OBの演奏に患者様やご家族様も楽しく過ごしていただきました。

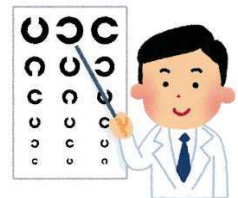


就任医師紹介



ふくはら まさゆき
福原 雅之（眼科）

本年 1 月より入職いたしました福原と申します。
昭和 63 年、大阪医科大学卒業です。
これまでの経験を生かし、幅広い眼科疾患に対応できるように努めたく考えております。
些細なことであっても眼科的に気になることが
ありましたら、ご相談頂けましたら幸いです。
どうか宜しくお願い致します。



入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL：072-627-7611(代) FAX：072-627-3627
平日（月～金曜日）の 20 時までは救急患者様に対応できる体制を整えています。